

氏名	井上 周
学位の種類	医学博士
学位授与番号	博乙第1948号
学位授与の日付	昭和63年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者(学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	脛骨髄内釘固定に関する解剖学的研究
論文審査委員	教授 村上宅郎 教授 折田薫三 教授 寺本 滋

学位論文内容の要旨

脛骨骨幹部骨折における観血的療法の第一選択は髄内釘固定とされている。本法に関して脛骨髄腔の形態，リーミングの髄腔への影響についての詳細はわかっていない。そこで著者は髄内釘固定に関する脛骨骨幹部の解剖学的検索を行った。

X線写真にて，狭部の位置は全長に対し脛骨下関節面から平均約39%の部にあり，狭部髄腔幅は平均 11.8 ± 1.9 mmであった。

骨幹部髄腔の断面形状の変化は，それらの最も長い軸は中枢から狭部末梢5 cmまでは前外側より後内側に向う方向であるが，それより末梢では前額方向に捻れていた。この形態と計測結果から，カセット—管球間距離1 mで脛骨を撮影し，その狭部髄腔幅を基準とすると，髄内釘刺入に対するリーミング径は，狭部髄腔幅値より0.5 mm大きいものが適当と考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究は脛骨骨幹部骨折の髄内釘固定について解剖学およびX線学的に検討を加えたものであるが，従来十分確立されていなかった同固定におけるリーミング，特にその径について重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。